

信徒伝道者養成課程

聖書の学び方 (担当: 林 正弘)

学びのガイド 3

読み方の実際

「あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じる
ことのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。」

(Ⅱ テモテ 2:15)

読書：「“聖書読み”のコツ」第5、6章(84-108頁)、巻末資料(155-159頁)

要点：

1. 文脈の大切さを意識するためにも、書全体を読むこと(観察)をやってみる。

○ 観察のポイント (あまり詳細にとらわれないこと)

1) 一つの書全体を、新鮮な気持ちで、なるべく一気に、速く読む。

— これまで読んで知っていることを前提とせずに

— 途中で、あれこれ考えずに、事実を追う

「5W 1H」に注意しながら

引っかかる箇所はマーク(メモ)だけして、あとで改めて見る

— 一枚の紙に書全体が記されているのを眺めているようなイメージで

2) まず一読したときの、全体から受ける印象、雰囲気などを書き留める

— 書全体として、どのような種類(性質)の素材かを見分ける。

たとえば、伝記的、歴史的、地理的、論理(教理)的など

さらに、重要語句や新しく気づいた真理などもメモする

3) 構造を見つける

①章名をつけてみる

②主要な構成部分に分ける。そのために、反復、因果関係・強調・比較・対比、
等々の法則を用いる。また思想の進行(進展)、クライマックスを探す。

③各区分に題名をつけ、それぞれの関係を見つける。

④鍵の句、特に重要な箇所を特定する。

2. その上で、意味(真理)をとらえる

○ 解釈のポイント

「学びのガイド2」の「1. 聖書を正しく理解するためのポイント」に気をつける

3. 真理を適用する — 自分自身に、そして人々に

○ 適用のポイント

「教えと戒めと矯正と義の訓練」(Ⅱテモテ 3:16)の4段階

- 1) 教え：学び取るべき真理を受け取る
- 2) 戒め：真理と異なる現実を知る
- 3) 矯正：まちがっていることを正す
- 4) 訓練：実際にあてはめ、やってみる

課題：

- ① マルコの福音書を一気に読んでください。観察のポイントを心に留めて読んだあと、印象、書の素材や主題、新しい発見などを箇条書きにしてください。
(所要時間は、個人差がありますが、1時間以内がおすすです。)
- ② もう一つ、別の福音書を選んで、①と同じように読んでください。読んでいるときは新鮮な気持ちで。マルコの福音書との比較は意識せずに。
- ③ 読み終わってから、二つの福音書の類似点や相違点など気づいたことを挙げてみてください。

以上